

【教材名】 逆唱カルタ



【目的】 聞いた言葉を頭の中で逆に唱え、該当するカードを取ることで、語音を分析する力（発音や読み書きの土台となる力）を育てる。

【指導目標】

- 1 一定の音節数（2～5音節）の反対ことばを聞いて、音の順序を入れ替えて単語を同定し、その絵カードを取ることができる。

【やり方】

- 1 一定の音節数のある絵カードをばらまき、指導者が「反対ことば」を言う。
- 2 子どもはそのことばを頭の中で順序を入れ替え、単語を思いつき、その絵カードを取る。
- 3 子どもの実態や必要に応じて、早く取らないと先生が取るよ、とスリル満点にする。

【適用できない例】

- 1 事前に絵カードを通常の音の順番で呼称してみて、その名前が言えない場合。

【コメント】

子どもの実態に応じて、2音節の絵カードから始め、徐々に音節数の多い絵カードにしていきます。また、音節数を少なめにして子どもに出題させることで、よりいっそうの効果をねらうこともできます。

発音が一音ずつなら正音だが単語になると置き換わるとか、文字が逐次読みである、新しいことばがなかなか覚えられない、などの場合、音韻分析機能の弱さが背景にあるためかもしれません。もちろんそれ以外の要因も考えられるので、子どもの実態を正確に理解した上で、この教材の必要性を検討することが望まれます。

